

## 南三陸病院経営強化プラン（素案）に関する意見公募に対する回答

- 1 意見募集期間 令和6年1月4日～2月5日
- 2 公表方法 広報みなみさんりく1月号、南三陸病院ホームページ  
南三陸病院、南三陸町役場及び歌津総合支所での閲覧
- 3 意見提出方法 郵送、ファクシミリ、電子メールまたは持参
- 4 意見等件数 4件
- 5 意見等概要 下記のとおり

番号	提出いただいた意見等の概要	意見等に対する病院の考え方
1	<p>（医師・看護師の確保と働き方改革）</p> <p>人手不足などにより医師や看護師、事務職員など様々なお立場の皆様が大変お忙しくされていることと思います。その一助になるかどうかわかりませんが、オンライン受診システムの導入を検討してほしいです。システムにかかる経費も難点かもしれませんが、業務の効率化にもつながるのではないかと考えます。</p>	<p>今後、医療ニーズの変化や医療の高度化、少子化に伴う医療の担い手の減少が進む中で、医師個人に対する負担がさらに増加することが予想されます。</p> <p>いただいたご意見のICT（情報通信技術）等の活用は業務の効率化、医師の負担軽減に有効とされますので、経営強化プランに反映したいと思います。</p>
2	<p>（医師・看護師の確保と働き方改革）</p> <p>看護師の負担軽減として、待合室のボランティアスタッフの導入を提案します。</p>	<p>規模の大きい医療機関では、外来や病棟にボランティアスタッフを導入し、看護師でなくてもできる業務を担っている事例があります。</p> <p>当院においては病棟のほか外来診療科にクラークを配置し、診察前準備や診察介助など看護師でなくてもできる業務を担い、負担軽減に努めております。今後においても業務の効率化を図りながら、働き方改革に取り組んでまいります。</p>
3	<p>（経営の効率化）</p> <p>小児科を受診したいが、開設日時に制限があり満足に受診できません。私も周りの人も、町外の小児科を受診せざる得ず、南三陸病院にお金を落とせない状態になっています。小児科は子</p>	<p>子どもの人口や子育て世帯数は減少しているものの、当院において、受診者数は微増の状況となっております。</p> <p>現在、当院では小児科の常勤医がいないため、週3回東北大学から派遣の非常勤医師が診療にあたっていただいております。</p>

	<p>どもがいれば高い頻度で利用しますので、開設日時が増加すれば利用率は上がることは確実だと思います。</p>	<p>ります。一定のニーズはあることから、引き続き関係機関と調整しながら医師確保に努め、医療ニーズに対応してまいります。</p>
4	<p>(その他) 小児科の待ち時間が長く改善してほしい。</p>	<p>経営強化プランには直接関係がございませんが、待ち時間の改善については、多方面からご意見が寄せられております。突発的な疾病に対する対応など要因は様々であると考えられます。</p> <p>今後においては働き方改革と合わせICTの活用による受診者の負担軽減など改善策の検討に取り組んでまいります。</p>